

PM計画立案支援システム

過去案件の実績・教訓を活用した工数見積・リスク確認支援

SmartSE IoT/AIコース 修了制作 | 受講生番号 : sse09-20 | 山口 陽子

開発における問題点

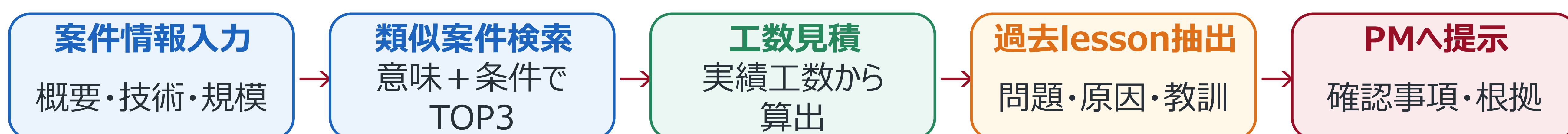
- ・計画立案では、工数・リスク・確認事項を多面的に判断する必要がある
- ・過去案件の実績や教訓が、計画時に使える形で整理されていない
- ・経験や感覚に依存し、PMによって判断材料に差が生じやすい

手法・ツールの適用による解決

- ・過去案件を「判断材料」に変換して提示
- ・Embedding + 構造化条件で類似案件を検索
- ・実績工数から3点見積を算出
- ・過去lessonをLLMで確認事項・根拠へ整理

提案システムの概要

過去案件の「検索」から、工数見積・リスク確認・根拠提示までを一連の流れとして支援する。



類似度設計 : 総合類似度 = 概要45% + 技術25% + 案件属性20% + 規模10%

50%以上の案件だけを、工数見積と過去lesson取得に利用する。

使用技術 Next.js / FastAPI・Python / PostgreSQL+pgvector / OpenAI Embedding・LLM / Docker

MOC画面・デモ結果



出力例 : TOP3、最可能値45.8人月、過去事例に基づく確認事項を提示

評価・考察・今後

実装・評価で確認できたこと

- ・類似案件TOP3と実績工数を提示
- ・実績工数から3点見積を算出
- ・過去lessonを確認事項・根拠へ整理

考察

AIに工数やリスクを丸投げせず、検索・計算・LLMの役割を分けた。
LLMは、取得した根拠をPM向けに整理する役割に限定した。

今後の課題

実案件データの拡充、PMによる業務効果評価、重み・閾値の再検証

結論 : 過去案件の実績・失敗・教訓を、PMが根拠を持って判断するための材料へ変換する仕組みを構築した。

スマートエスイー: スマートシステム & サービスおよびDX推進を担う人材の産学連携育成